



農業と自然を体験! 砥山農業小学校通信

みんなで頑張った農業小学校と卒業式

5月15日の入学式から早6か月、今日は最後の授業と卒業式。好天に恵まれてこれ以上ない農作業日和となりました。

たくさんの農作物が種や苗から生長し実を結びました。参加した子供の皆さんもこの半年で農作業の身のこなしや作業の要領など見違えるようにたくましさを身に着けました。親の皆さんも実感されることかもしれません。スタッフにとってもこれ以上の喜びはありません。半年のこの経験がご家族の生活に何かと役立つことを願っています。



りんごの収穫

10:20~



先月、葉摘みしてたわわに実ったワセフジ(昂林・こうりん)を収穫します。果汁もたっぷりで全体に甘味と酸味のバランスがとれたおいしいりんごです。

瀬戸園主から、りんごの木や枝を痛めないように収穫する方法や、未熟な実の見分け方の説明を受けました。りんごもぎは初めての人もいて笑みがこぼれます。収穫したりんごはみんなで分けて持ち帰ることになっています。

交流会準備

11:00~



今年の交流会の料理はブタ汁とイモもち。ジャガイモ・ダイコン・ニンジン・ゴボウ・豚肉・豆腐などたくさんの材料を全員で分担して、皮むきや切ったりしました。大鍋での煮込みなどはスタッフが行ってくれます。その間、皆で野菜の収穫に向かいました。

野菜収穫

11:30~

8月7日に種をまいた「源助大根」は短くずんぐりとした形です。抜き取るのも楽で、という間に終了。すでに交流会の豚汁の具として使われています。

【写真上】



学校で植えたトウモロコシは大雨と風の影響で全滅したため、少し収穫時期を



逸しましたが農園が用意してくれた畑からの収穫です。【写真下】

生長が心配されたサツマイモは掘ってみると良型のものもあり、北海道の低温下でもある程度の収穫できることが実証され、安心が広がりました。【写真下】

その他、ゴボウも収穫。一方、ニンジンは北海道中で不作となっているニュースが流れているように、ここ砥山でも全く収穫ができませんでした。種まきから成長期に低温長雨が続いた影響が出ました。

交流会

12:30~



豚汁とイモもちをみんなでいただきました。自分たちが収穫した野菜が使われていると思うと格別なおいしさだったようです。

ハロウインカボチャ工作 13:30~

各自思い思いに先月早めに収穫したカボチャを選んで工作しました。まづフェルトペンなどを使って切り抜き線を描きますが、思い通りの形になるまで何度も書き直しました。中の種やワタをスプーンで取り除き切り抜き線に沿って切り取ると完成です。

卒業式

14:30~



瀬戸前校長先生から一人一人に卒業証書が手渡されました。感謝の言葉を述べるお友達多く、スタッフ一同はこの農業小学校に係わった幸せを感じた瞬間でした。参加者の皆さんのおかげで、この農業小学校が大きくなり、多くの人に喜んで頂けたことを感謝します。



卒業 あめでとう



津江鞠花さん（小3） 山本彬さん（小1）



松岡京平さん（小5）

村木 祥さん（小1） 良さん（4歳）

齋藤真桜さん（小5）



山田光流さん（小5） 晃聖さん（2歳）

木村優太さん（小5）

根間愛華さん（小6）



根間彩華さん（小6）

及川終次さん（小5）

及川柚希さん（小2）